
素晴らしきシリーズ（パート１）

むしん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

素晴らしきシリーズ（パート1）

【Nコード】

N2302E

【作者名】

むしん

【あらすじ】

若い時、理解できなかった上司の一言が、経験を積むうちに理解できるようになっていく

素晴らしき上司

井上は高校を卒業し、事務職としてある企業に就職した

元々性格が真面目なこともあり

与えられた仕事を黙々とこなした

上司から重宝された

ある時上司の山川に魚釣りに誘われた

公私ともにお世話になるようになった

その山川は非常に有能な人で、周りから一目置かれた

井上は山川に可愛がられる事で、社内で優位な立場に立った

その後、山川の優しさに甘え、仕事は一生懸命であったが、

自己啓発らしきものは、なんの努力もしなかった

ある時山川から次のように言われた

「仕事ばかりそんなに一生懸命になるな。
手を抜け。もっと本を読め」

最初自分の耳を疑った。あんなに仕事のできる上司が、なぜ仕事は
適当でいいなどと言うのだろう

全く意味が理解できなかった

あれから20年今やっと、その時、山川さんから言われた意味が理解できる気がする。

当時井上は、仕事一辺倒の人間で、仕事中心の人間であり、家庭や回りの状況に、目を向ける余裕など全くない状況であった。

この状況を危惧した山川が、井上の将来を心配して出た言葉だった。案の定、井上は仕事熱心なあまり、ある時ノイローゼになってしまった。

井上はノイローゼにもがき苦しみながら、何とか正常な精神状態を取り戻す。

仕事を愛し、仕事以上に人を愛した山川さんは、昨年癌でなくなりもうこの世にはいない

山川さんから教えられた様々な事を、次の世代に引き継ぎたいと井上は思っていた。

それが、山川さんに対する最大の恩返しと井上は信じている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2302e/>

素晴らしきシリーズ（パート1）

2010年10月22日00時05分発行